

第157号

平成12年
(2000年) 6月議会

ふなばし 市議会だより

発行
船橋市議会
編集
市議会広報編集委員会
電話 (047) 436-3012



公設公営となった放課後ルーム (習志野台第一小学校)

主な記事

議案の概要 各会派の議案に対する質疑	2頁
議案議決結果一覧表 永年在職議員表彰 海外行政視察の報告 可決された意見書	3頁
常任・特別委員会の動き 陳情議決結果一覧表	4頁
一般質問 (市清会・緑政会)	5頁
一般質問 (市民連合・公明党)	6頁
一般質問 (ふなばし21・元気都市と安歩と女性)	7頁
一般質問 (新風・日本共産党)	8頁

第2回定例会

消防団員等の公務災害補償に 関する条例の一部改正など

議案8案を可決・陳情2件を採択

平成十二年第二回定例会は、六月二日から六月二十一日までの二十日間の会期で開かれました。

初日には、市長より提案された八議案の説明があり、これに対する質疑を、八日に五人の議員が行いました。

また、九日から十四日の四日間にわたり一般質問が行われ、二十人の議員が市政の諸問題について質問しました。

さらに、十六日には常任委員会が開かれ、付託された議案及び陳情の審査が行われました。
最終日には、議案、陳情及び意見書を議決し、閉会しました。

会議の経過

◆六月二日(金)

○開会

○会期の決定

○議案の提案説明

◆八日(木)

○議案に対する質疑

○専決処分承認議案の採決

○議案の付託

◆九日(金) 十日(月)

○一般質問

◆十四日(水)

○議会運営委員会

○一般質問

○陳情の付託

◆十六日(金)

○常任委員会

◆二十一日(水)

○付託事件の審査報告及び採決

○議員提出議案の採決

○海外行政視察の報告

○閉会

議案の審査

議案の概要

※採決結果は、三面に掲載

条例関係

消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

【第一号】

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、補償基礎額、介護補償の額及び葬祭補償の額を引き上げるもの。

消防団員退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

【第二号】

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、退職報償金の額を引き上げるもの。

その他

専決処分の承認を求めること(平成十一年度一般会計補正予算)

【第三号】

他会計への繰越金の減額等に伴い歳入歳出予算を減額する必要が生じたため、予算の補正に急を要し、専決処分したものの。

専決処分の承認を求めること(平成十一年度下水道事業特別会計補正予算)

【第四号】

繰越明許費の補正に急を要し、専決処分したものの。

専決処分の承認を求めること(平成十一年度老人保健医療事業特別会計補正予算)

【第五号】

医療費の増加により、医療給付費の支出に際し予算の不

足が生じたため、予算の補正に急を要し、専決処分したものの。

専決処分の承認を求めること(平成十一年度船橋駅南口市街地再開発事業特別会計補正予算)

【第六号】

国庫補助金の確定により、歳入歳出予算を減額する必要が生じたため、予算の補正に急を要し、専決処分したものの。

専決処分の承認を求めること(市税条例の一部を改正する条例)

【第七号】

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、制定に急を要し、専決処分したものの。

専決処分の承認を求めること(都市計画税条例の一部を改正する条例)

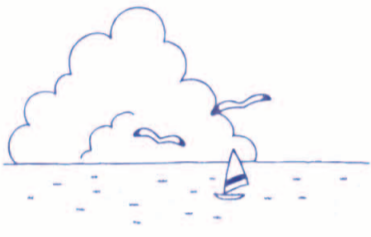
【第八号】

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、制定に急を要し、専決処分したものの。

人事案件(諮問)

人権擁護委員の候補者推薦について諮問があった。

則松 美恵子(新任)
田久保 健美(新任)
櫻井 一正(再任)



市民連合

第一号について

災害対策基本法の規定が読み替えられることになったのはなぜか。

答 昨年発生した東海村の臨界事故を契機として、原子力災害が発生した場合に原子力災害対策特別措置法に基づき、災害対策基本法で規定している応急措置業務に従事した人に対する、損害補償と協力要請する場合の条件を読み替えて適用することになったからである。

第三号について
起債の割合はどうか。

元気都市と安歩と女性

第五号について
三月議会で補正したにもかかわらず、今回も補正することになった理由は。

答 老人医療費は、天候や流行性疾患、花粉症等の影響によって変動するし、薬剤により負担金の廃止、老人保健施設の増加等により、医療給付費の支出に予算不足が生じ、今回補正を行った。

問 三月の補正の際に、これを要する要因として考慮しなかったのか。

答 三月の補正では、医療費の増額を見込んでいたが、結果的に不足を生じた。今後は、どのような変動要因を予測しているのか。

日本共産党

第一号・第二号について

問 一般市民の自主的消火活動等も補償対象となるか。

答 火災現場付近にいた者は該当する。

公明党

第一号について

問 十一年度の公務災害の発生件数、内容、補償額は。

答 一件、左足小指骨折、療養・休業補償約三十万円。

問 十一年度末の消防団員退団者数。②退職報償金を受けた団員数及び退職報償額。③平成七年から女性消防団員を採用したが現況は。

答 ①四十九人。②四十三人、総支給額千二百二十六万円。

案にする疑議対質

(市清会は、ふなばし21・緑政会・新風を代表して行いました。)

市清会

第一号について

問 当市において東海村と同様な事故が発生した場合、どのように対処するのか。

答 同様な事故が発生するおそれのある事業所は存在しない。医療機関の検査機器等、放射性同位元素を取り扱っている事業所はあるが、安全対策は万全であることを確認している。

問 新しく発足した化学中隊の内容は。

答 毒劇物、ガス、放射性物質等の災害のため、化学災害活動マニュアルを作成し、職員に周知するとともに、前原分署に消防車二台、救急車一台で化学中隊を発足した。

第五号について

問 老人医療費の適正化を図るための施策は何か。

答 レセプト点検の実施、被保険者ごとの受診記録の医療費通知を年四回実施、またパンフレットの配布や市広報による啓発活動を実施している。さらに疾病の予防、早期発見のため各種検診事業等を推進する。

問 補正予算の専決処分を行った理由と完成時期に対する影響はないか。

答 国庫補助金、県補助金の減額により専決処分を行った。今後の工事等のスケジュールに対する影響は特になし。

第七号について

問 ベンチャー企業の株の譲渡所得に対する課税の特例が創設されたが、その内容は。

答 ベンチャー企業に対する投資環境の整備を図るため、特定株式の譲渡所得等の金額が従前の特例と併せて四分の一となる。

第五号について

三月補正は適切だったか。

答 老人は天候や流行性疾患に影響を受けやすいので、今後は、検討を加えたい。

問 医療費増額の内容分析は。

答 インフルエンザと花粉症が主な原因とされている。

問 国・県補助金減額によるスケジュールへの影響は。

答 工事への影響はない。

第七号・第八号について

問 横浜市は、風俗店に対する独自の課税の検討を始めたが、本市の取り組みは。

答 横浜市の取り組みを見ながら、新税について研究。

第五号について

問 国に対し、民主的な税制改正を求めていくべきか。

答 市として国・地方間の税源配分見直し、都市型自治体への配慮等を求めていく。

議案議決結果について

議案議決結果一覧表

議案番号	件名	各会派の賛否							議決結果	
		ふ	市	緑	新	公	共	民		元
第1号	船橋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2号	船橋市消防団員退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3号	専決処分の承認を求めることについて (平成11年度船橋市一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第4号	専決処分の承認を求めることについて (平成11年度船橋市下水道事業特別会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第5号	専決処分の承認を求めることについて (平成11年度船橋市老人保健医療事業特別会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第6号	専決処分の承認を求めることについて (平成11年度船橋市船橋駅南口市街地再開発事業特別会計補正予算)	○	○	○	○	○	×	○	○	承認
第7号	専決処分の承認を求めることについて (船橋市市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	×	○	○	承認
第8号	専決処分の承認を求めることについて (船橋市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	×	○	○	承認

○-賛成 ×-反対 ふ(ふなばし21) 市(市清会) 緑(緑政会) 新(新風) 公(公明党) 共(日本共産党) 民(市民連合) 元(元気都市と安歩と女性)

永年在職議員表彰



小仲井 富次
(緑政会)

さきに開催された全国市議会議員会、関東市議会議員会及び千葉県市議会議員会の各定期総会において、小仲井富次議員が永年在職議員(在職二十五年)として表彰されました。

その栄ある伝達式が、今定例会開会前に行われました。

海外行政視察の報告

平成十一年十二月定例会において承認され、欧州の先進都市を行政視察した議員団六名が、最終日に報告書を提出しました。

一行は、二月五日から十三日までの九日間の日程で、メインテーマを「福祉」とし、さらに、サブテーマを①バリ

アフリー②少子・高齢化対策③地域ぐるみの福祉への取り組みの三項目に絞り、スウェーデンのストックホルム市、カトリネホルム市、ドイツのベルリン市の市議会及び福祉行政等について視察を行いました。

視察議員団は次のとおりです。
 団長 田久保 捷三
 副団長 斉藤 誠
 長谷川 大

この報告書は、議会事務局でご覧になれます。

可決された意見書

※紙面の都合により要旨のみの掲載となります。

自動車損害賠償責任保険の再保険制度廃止反対に関する意見書

政府は、今年三月末、規制緩和推進三か年計画を閣議決定し、自賠責保険で被害者保護の根拠となっている政府再保険制度の原則廃止を決めた。再保険の廃止は、政府がこれまで行ってきた被害者対策を損保会社に譲り渡してしまふことになる。被害者と利益が相反する営利企業に、被害者対策はできない。被害者保護が大きく後退し、将来的には自賠責保険の民営化につながる危険性がある。

国の現行の被害者救済事業は、まだまだ不十分であり、しかも交通事故は、だれでも被害者や加害者になる可能性がある。

よって、政府においては、自動車損害賠償責任保険について、次の措置を講じられるよう、強く要望する。

一、被害者保護をどう充実させるのか、その具体的な制度が法的に保障されない限り、再保険制度を廃止しないこと。

二、当面、再保険の運用黒字分は安易に保険料の引き下げなどを行うのではなく、被害者救済の充実に充てること。

請願・陳情の書き方、出し方

市政に対する要望や苦情等を議会に書面で提出することができます。

議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と言います。

請願書・陳情書は、市議会事務局でいつでも受理しますが、定例会開会日の前日の午後五時までに受理したものを、

請願書の様式(例)

「表紙」

〇〇〇〇に関する請願
 平成 年 月 日
 船橋市議会議長 様
 請願者 住所 氏名
 外〇人
 電話
 紹介議員 氏名

「本文」

〇〇〇〇に関する請願
 (願意)
 (例1) ……なので、…願いたい
 (例2) ……ため、…下記事項を
 実施願いたい
 記
 1 ……………
 2 ……………
 (理由) ……………

- 1、請願(陳情)の趣旨、提出年月日、住所を記載し、署名又は記名押印してください。
- 2、請願の場合は、紹介議員の署名又は記名押印が必要となります。
- 3、請願(陳情)の趣旨(願意・理由)を書くとき、議会に対して何を求めるか、何をしたいのか、できるだけ具体的に、また簡明に記載してください。
- 4、内容の異なる二つ以上の事項を請願(陳情)される場合は、別々に提出してください。
- 5、点字による請願書(陳情書)も提出できます。

本市への視察訪問

- 〔1月〕 13日 松江市議会(1人) 焼却灰再資源化施設
- 〔2月〕 9日 芦屋町議会(7人) ふなばし海浜公園
- 14日 新居浜市議会(1人) 環境共生まちづくり条例・アンデルセン公園
- 15日 三田市議会(2人) 焼却灰再資源化施設
- 16日 高松市議会(1人) 環境共生まちづくり条例
- 18日 山市議会(2人) 焼却灰再資源化施設
- 21日 大村市議会(3人) 焼却灰再資源化施設
- 23日 宮崎市議会(2人) 環境共生まちづくり条例・海水利用の大
- 〔3月〕 25日 規模消火システム 松江市議会(1人) 情報公開制度
- 28日 京都府議会(3人) 救命救急センター・ドクターカー
- 29日 徳島市議会(2人) 京成本線連続立体交差事業
- 31日 西宮市議会(2人) 海水利用の大規模消火システム
- 〔4月〕 19日 下関市議会(5人) 北口駐車場及び駅前広場・国際交流 駅周辺商店街
- 27日 堺市議会(1人) 中学校給食
- 〔5月〕 16日 米子市議会(5人)
- 〔6月〕 27日 東浦町議会(10人) 焼却灰再資源化施設
- 29日 宇都宮市議会(1人) 焼却灰再資源化施設
- 30日 酒田市議会(3人) 中学校給食



常任特別委員会の動き

総務、厚生、建設及び文教の各常任委員会が16日に、議会運営委員会が14日に開かれました。また、先の定例会で設置された市立船橋高校入学者選抜に関する調査特別委員会も開かれましたので、併せて審査の概要をお知らせいたします。

なお、環境経済委員会は付託案件がありませんでした。

総務委員会

審査事件
 ○議案2案
 ○陳情1件
審査の概要

議案について
 議案第1号船橋市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例については、消防団の募集はどういう形でや

っているのか。一般的な募集制度をとらない理由は何か。消防団の欠員対策はどのようなものか。消防団員等の「等」の中には、どの程度まで入るのか。原子力災害対策特別措置法が適用される災害時には、どこから消防団に情報が入ってくるのか。船橋市は化学中隊があるが、出動するのはどういうときか。

議案第2号船橋市消防団員退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例については、消防団採用時から、職階を定める基準は何か。職階は勤務年数と比例をするのか、それとも勤務年数と関係なく決まるのか、その辺の基準はどうなっているのか。だれでも納得できる基準で階級は定まっているのか、等の質問があった。

2案とも討論はなく、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決した。

陳情について
 陳情第28号は、継続審査の意見が出され、採決に入る前に継続について諮ったところ、少数のため否決。採決の結果、全会一致で採択と決し、意見書を提出することとなった。

厚生委員会

審査事件
 ○陳情2件
審査の概要

陳情第29号市民の声・ケア現場の声を生かした福祉施設建設計画づくりに関する陳情及び第30号市立特別養護老人ホーム建設計画の再検討に関する陳情は、一括して審査を

行った。

審査の参考のため、理事者の説明・見解を求めた後、質疑に入ったところ、①近くにトイレがあって、排泄を促す環境を整えることが必要ではないか。トイレの設計変更は可能か。②収納家具などの設置によって、プライバシーがどの程度保てるのか。③家を建てる時あれこれ言ったら切れない。福祉施設をテラスにするのが、福祉先進都市の意味か。④特別養護老人ホームの待機者が二百人もおり、そのベッド予定数を減らせないことは、市民全体の要望に逆行すると思うがどうか。⑤建設計画を一時保留せよとあるが、これは現実的に可能か。⑥浴室が各階にあるほうが使い勝手が良いのか、等々の質問があった。

また、第30号は、継続審査が否決され、賛成少数で不採択と決した。

建設委員会

審査事件
 ○陳情8件
審査の概要

押しボタン式信号機設置(国道296号・マエバラスポーツ店前)に関する陳情については、「設置が難しい道路形態だが、歩行者の安全重視の視点で警察と交渉すべき」「横断歩道設置時に信号を設

置しなかった経緯を確認し、警察と前向きに協議すべき」「押しボタン式信号機について技術的に研究し、これは踏切と連動するようにすべき」との採択意見、「歩行者の安全確保上は信号設置が望ましいが、道路状況、過去の経緯等から設置は困難」との不採択意見があり、賛成少数で不採択とすべきと決した。

東中山マンシヨン建設予定地の公園化等に関する陳情については、警察と前向きに協議すべき」「行政は建築主の意向を確認すべき」との採択意見があり、採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決した。公団住宅家賃の値上げ見合わせ等の意見書提出に関する陳情(継続審査事件)については、「既に家賃の値上げが行われており、公団からかなり配慮された回答が出された」との不採択意見、「公団は、特別

文教委員会

審査事件
 ○陳情3件
審査の概要

陳情17号
 小中学生の登下校の安全確保(中山競馬場入り口交差点)に関する陳情は、①分離信号設置の要件、②警察等に対する積極的な分離信号設置要請、③時間的な分離信号の導入と

波滞予測、④歩道橋設置の考えについて等の質疑があった。また、「交通安全対策を即決進めるよう、採択」「人の命を守る議論が優先されるべきであり、採択」「横断歩道は高齢者にはつらいし、波滞を理由にした消極的な姿勢はおかしい。分離信号にして、歩行者の横断時間を確保すべきであり、採択」「県の改良計画もあり、どんな形の安全対策がいいのか、また時間的な分離信号も、逆に事故を招く懸念があり、継続して研究したい」「波滞を避けようとする車の流れが気にかかると。今後の計画を見守りたいので、継続」等の意見があり、多数で継続審査と決した。(本会議では継続が否決され、採択となった)

給食に係る陳情2件は、昨年同様陳情が提出され不採択となっており、現況に変

議会運営委員会

議場に国旗掲揚に関する陳情は、昨年の第四回定例会から多数で継続審査となっており、今定例会まで引き続き審査してきたものである。そのため、前回と態度変更のあった会派の意見を求めたところ、意見はなく、引き続き多数で継続審査と決した。

平成十二年度市立船橋高校入学者選抜に関する調査特別委員会
 第一回定例会最終日に設置された平成十二年度市立船橋高校入学者選抜に関する調査特別委員会(委員十四人)は、

地方自治法第百条第一項に基づき調査を行うため、入学者選抜にかかわる記録の提出を求めるとともに、市船橋関係者、教育委員会理事者の出席を求め、事情聴取・訊問等を行っている。

特別委員会は、月二回の割合で開かれており、以下、概要について報告する。

【第一回・三月二十八日】
 正副委員長の互選を行い、委員長に中江昌夫議員、副委員長に田久保好晴議員を選出。

【第二回・四月四日】
 ○傍聴の扱いについて協議。
 ○市船橋合格者決定に至るまでの経緯及び教育委員会決定された処分内容と理由について説明を受けた後、質疑応答。
 ○調査方針及び今後の日程について協議。

【第三回・四月二十日】
 ○資料の扱い方を協議。
 ○委員会議事録の確認。
 ○提出資料に対する質疑応答。
 ○前市船橋校長の事情聴取。
 【第四回・五月九日】
 ○証人の出頭請求について協議。
 ○参考人・証人に対する証言事項等について協議。
 ○資料請求について協議。
 【第五回・五月三十一日】
 ○元市船橋校長の事情聴取。
 ○元市船橋教務主任・市船橋頭取の訊問。
 【第六回・六月十九日】
 ○市船橋教諭二人の事情聴取。
 【第七回・六月二十一日】
 ○資料請求について協議。
 【第八回・七月三日】
 ○教育委員会委員長・教育長・前市船橋校長の訊問。
 ○今後の日程協議。

陳情議決結果一覧表

付託委員会	受理番号	件名	本会議の結果
総務	陳情第28号	自動車損害賠償責任保険の再保険制度廃止反対等の意見書提出に関する陳情	○全
厚生	陳情第29号	市民の声・ケア現場の声を生かした福祉施設建設計画づくりに関する陳情	×多
厚生	陳情第30号	市立特別養護老人ホーム建設計画の再検討に関する陳情	×多
建設	陳情第31号	市営テニスコート増設中止等に関する陳情	△多
建設	陳情第32号	公営テニスコート料金の見直し等に関する陳情	△全
建設	陳情第33号	押しボタン式信号機設置(国道296号・マエバラスポーツ店前)に関する陳情	×多
建設	陳情第34号	東中山マンシヨン建設予定地の公園化等に関する陳情	×多
建設	陳情第38号	海老川上流地区区画整理反対に関する陳情	△全
建設	陳情第39号	仮称「せせらぎと彫刻の公園」建設計画の再検討に関する陳情	×多
建設	陳情第40号	斜面緑地保全(西習志野3丁目)に関する陳情	△多
建設	陳情第93号	公団住宅家賃の値上げ見合わせ等の意見書提出に関する陳情	×多
文教	陳情第35号	小中学生の登下校の安全確保(中山競馬場入り口交差点分離信号化)に関する陳情	○全
文教	陳情第36号	学校給食食材の塩素消毒中止に関する陳情	×多
文教	陳情第37号	学校給食に安全な地産の野菜・米等の食材使用に関する陳情	×多
議会運営	陳情第76号	議場に国旗掲揚に関する陳情	△多

※ ○…採択 ×…不採択 △…継続 全…全会一致 多…多数

一般質問 ここがききたい

市清会

地方分権の推進について

問 地方分権を進めていくうえで、基本的な考えの一つに、地方公共団体の自主性及び自立性を高め、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図り、国と地方公共団体の役割分担を明確にし、新しい関係を構築していくこととなっている。その中で地方公共団体の行政体制の整備、自立、自主的な市町村合併の推進を大きく取り上げている。

既に隣接市町村と合併し、政令都市となっている仙台市等を散策すると、政令都市の利点が随所に見られる。合併の前提は人口と財政の確立にあるが、二十世紀を見据え船橋市も隣接する市町村と合併し、政令指定都市に向けての考えはないか。

答 市町村合併の推進についての指針が自治省より県へ通知され、千葉県広域行政

研究会が発足し、現在研究を行っている。今後は、この研究結果を受け、各市長村長及び各議員にアンケート調査を実施し、今年中を目途に要綱を策定することになっている。

政令指定都市化をすることについては、行財政の効率化や広域的観点に立ったより効果的なまちづくり等を進めるうえで、一つの有力な手段と考えられているが、大変重要な問題であり、市町村の自主性により行われるべきものと考えている。現段階では、市民の動き、あるいは議会の意見等を見守りたいと考える。

青少年の犯罪防止について

問 最近、各マスコミ機関において青少年による犯罪記事が大きな社会問題になっている。犯罪の内容は、ますます凶悪、巧妙であり、加速する少子社会において深く憂慮するところである。

答 現在、青少年の非行防止として、青少年センターを中心に各団体等と広く連絡を図りながら活動している。青少年センターで取り扱った平成十一年度の補導状況は、三百二十一件であり平成十年度比で約八割減となっている。相談件数については、百九十三件で平成十年度と同数。次に、電話相談は、三千三十六回で平成十年度比六・六割増となっている。相談を受け共通して感じていることは、相談者の孤立という点である。青少年センターをはじめ各相談機関等が、各相談に十分対応できるよう研修を深め、その力量を高めたいと考えている。

問 犯罪防止活動は、日常の補導、相談活動、講演会等による啓発活動、各青少年育成団体等との協力等、地道な活動の積み重ねが大切と考える。この点についての見解を伺う。

今後家庭、地域、学校との連携を密にして青少年の健全育成のために、問題の早期発見と解決に力を注いでいきたいと考える。

学校給食における問題点

問 小中学校における給食制度については、逐次民間に委託されているが、一部の市民から衛生面、味等の陳情及び請願が出ている。そこで、古和釜小・中学校の給食の試食会に参加したところ、厨房の衛生感、食器類の安全性、味等、目で見て食べた結果、何一つ



昼食風景 (古和釜中学校)

心配ないという実感を。何より、小学校での試食時に「おいしいか」という問いに児童全員が「おいしい」と答えたことである。

しかし、厨房、食堂等の安全、衛生等については、快適であるが、プレハブ式の古和釜中学校では、外壁材の関係からか、室内の暑

緑政会

就職・転職情報を問う

問 本市、習志野市、八千代市との三市が合同で設立した習志野市西浜にある船舶地域障害者雇用支援センターの利用状況はどうか。

答 昨年の実績では、就職相談二百四十九件、就労訓練は十一人を受け入れ、職場実習を実施した。

問 ハローワークや民間求人雑誌等の情報をネットワーク化する提案に対し、市が導入する考えはどうか。

答 国のホームページでも職業安定所の求人情報を提供しており、また、船舶公共職業安定所でも、この秋に端末機を八十台設置し、画面タッチ方式で検索できる自己検索システムの導入を予定している。情報を市が提供することは現在考えていない。

行政情報の積極的提供を

問 本市の考え方、方向性は。現在、船舶市情報化推進会議を設置し、全庁的に取り組むとともに、広報や市内の企業にアンケートを行うなど広く意見を求め、情報化推進計画を策定したい。

問 岡崎市にある情報ネットワークセンターでは、市のお知らせや、例えばテニスコートの予約や利用申請など状況を踏まえ、空調機の設置については、他に設置を進めている保健室等の進捗状況を見ながら総合的に検討したい。

問 本市の震災対策は

答 四百項目の情報音が音声やFAXで手に入るシステムがあるが、導入する考えは。推進計画の検討の中で考えていきたい。

近隣都市との行政間ネットワークはどのようになっ

とされているか。



いざという時のための災害用品の備蓄

問 防災フェア、防災訓練及び市のイベント等において市民等に配布し認識を図るなど有効に活用している。職員の動員体制は。

答 水害に対しては水防動員体制を、大規模災害等の場合は、職員動員伝達システムによる配備体制をとる。さらに勤務時間外の地震災害対応として、市内及び隣接市町村在住の市職員二千四百十三名に辞令を交付し、自動参集体制を整えている。

総合的学習について

問 校長のリーダーシップの発揮いかん、学校間に格差が出過ぎてしまう懸念があるが、どう調整するのか。

答 基礎的な研究を行い、学習活動や実践上の留意点をまとめ、各学校に情報提供しているが、さらに研究学校を七校指定し、カリキュラムの作成や実践を進め、その成果を各学校に情報提供していく予定である。



「青少年の環境をよくする市民の会」による朝のあいさつ運動

犯罪の防止については、非行に踏み込まないことが大切と考える。規範意識の低下等の原因として、家

校の給食の試食会に参加したところ、厨房の衛生感、食器類の安全性、味等、目で見て食べた結果、何一つ

心配ないという実感を。何より、小学校での試食時に「おいしいか」という問いに児童全員が「おいしい」と答えたことである。

状況を踏まえ、空調機の設置については、他に設置を進めている保健室等の進捗状況を見ながら総合的に検討したい。



市民連合

税収アップの取り組みを伺う

問 市税徴収率引き上げのための取り組み状況について伺う。

答 平成十二年度滞納整理計画を作成し、新たに夜間の臨戸徴収の実施等、積極的に滞納額の縮減に取り組んでいる。

問 市独自の徴収率引き上げの施策があるか。

答 市税確保緊急対策推進本部の設置による休日臨戸徴収及び国税徴収事務経験者を指導員として採用するなど、徴収体制の強化を図っている。

が一体となった循環型社会を目指していきたい。

問 廃棄物処理法の改正に伴い、市の役割及び排出事業者への指導を伺う。

答 市の廃棄物処理計画の策定、多量排出事業者の減量計画の取りまとめを行い、それに基づく県の減量計画等に協力していくことが考えられる。事業者へは、排出現場での直接指導等を考えている。

道路交通対策について

問 JR津田沼駅北口の交通渋滞の対応策を強化すべきではないか。



交通渋滞のJR津田沼駅北口

ごみ処理施策について

問 資源有効利用促進法の成立に伴い、今後の取り組みをどのようにしていくのか。

答 施設整備や収集体制の見直し等も含めた、総合的な対応に努めていく。製造業者に対しては啓発・指導を行い、市民、事業者、行政

答 現在、午後一時から交通整理員を配置しているが、活動時間外について所轄警察署に取り組みを要請していきたい。

問 JR津田沼駅北口の交通渋滞の要因の一つに、パルコ、西友の地下駐車場への進入待ちが考えられるが、見解を伺う。

答 JR津田沼駅北口の交通渋滞の要因の一つに、パルコ、西友の地下駐車場への進入待ちが考えられるが、見解を伺う。

公明党

雨水対策について

問 市の当面の水害対策の取り組みは。

答 雨水流出抑制対策として校庭を利用した貯留浸透施設の設置や、開発行為は、調整池や浸透施設の設置などを実施しながら、地域の浸水被害の軽減に努めている。今後、さらに雨水対策

を推進していきたい。

放課後ルームの現状を問う

問 報道の中で、円形脱毛症の児童がいるとあったが、本当にこのような事実があるのか。

答 番組を見てから、早急に全放課後ルームの指導員に対し、事実の確認をしたが、このような事実はない。

問 父兄と指導員、市と父兄などの意見交換はどのようにするのか。

答 懇談会を各学期に一回ないし二回程度開催する予定であり、また、日々の生活の様子などは、児童ごとに連絡帳を用意して保護者に伝えている。

福祉サービスの充実を

問 「すくすく健やか子育てサポートプラン」を、市の子育て支援の総合計画として充実させ、計画の推進役・相互調整役として責任部署の設置を求めるとはどうか。

答 これから策定するが、内容を充実し、かつ効果的なものにする必要がある。部署については、関係部課との調整を十分図りながら、目標の実現に努力したい。

高次脳機能障害者の対策を

問 障害者の実態をどの程度把握しているのか。

答 把握することは大変に難しいが、厚生省でも平成八年度から実態の把握と、必要なサービスについての調査・研究を実施しており、また、東京都の実態調査も参考にした。

問 連絡所に福祉ガイドコーナーの設置を求める市民の声が大きい。スペースや人の配置等の問題があるなら、申請書の配布と受付、それに付随する相談業務だけでも巡回サービスで対応できないか。

答 施設的な条件がクリアできるところは、今後、人的配置等も含め関係部課と協議検討してみたい。

前原団地建替について

問 公団法では、公団の建替えに際し、市などから公営住宅や社会福祉施設等を設置したい旨、公団に申し出ることができるかとされているが、どのようなアプローチをしてきたのか。

答 公営住宅の整備については、前原団地第一ブロックの後工区の完成が平成十五年三月に予定されているので、十五年以降の計画の中で住宅需要の動向を見極めながら検討したい。また、平成七年度から公団と折衝した中で、児童ホーム、老人憩いの家、デイサービスセンターについて、設置の方向で既に協議されている。他の施設等については、今後の市のまちづくり全体の中で検討し、併せて都市基盤整備公団と協議したい。

問 障害者の実態をどの程度把握しているのか。

答 把握することは大変に難しいが、厚生省でも平成八年度から実態の把握と、必要なサービスについての調査・研究を実施しており、また、東京都の実態調査も参考にした。

中山地域の諸問題を問う



生まれかわるJR下総中山駅北口

問 市川市では、この五月より船橋市本中山にある「寿湯」をデイセンターとして始めたが、どう思うか。

答 市境付近に公衆浴場がないことから、本市にある公衆浴場を利用しているものと理解している。なお、本市でも、無料入浴券の対象施設として鎌ヶ谷市、習志野市の公衆浴場と契約をしている。

問 デイセンターは地区協力が設置された所から具体的方策を、とのことだが、もっと積極的にできないか。

答 地域の福祉課題については、それぞれの地域で処理をするのが基本的な考え方なので、地区社協でやってみようとお答えした。また、市川市では、老人福祉センターが一つしかなく、五館整備している本市においても、きちっとした体制であると考えている。

JR下総中山駅北口広場の整備の状況はどうか。

問 JR下総中山駅北口広場の整備の状況はどうか。

答 関係機関との協議が概ね整い、来年三月完成を目標に、工事着手に向けて設計

問 創造を生かすインターネッツ教育をどう考えるか。

答 国の協力者会議において今後さらに研究を進めていく必要があると報告されているので注目していきたい。また、本市でもインターネッツの有効活用を推進していくとともに、不登校児の教育相談の一つの方法として、調査研究していきたい。

環境教育として、学校において、リサイクルのデモンストレーションなど、民間の協力を得ることができないか。

答 今後、大型店舗のごみ処理や汚水処理、あるいは古新聞の再生工場の見学など民間の協力を得ながら、リサイクルの様子を子供たちに体験させることは大変意義があるので、積極的に活用を図りたい。

出前講座について

問 市民の要望が多い、また

答 今年度は、基準による配置数九人、弾力的運用による五人を加え、十四人を十三校に配置している。介助員はどのような手続きで配置されるのか。また、なぜ中途でいなくなってしまうことが起きるのか。

答 年度始めと学期間に児童・生徒の人数を調査し、配置基準の条件を満たした学校から、登録された介助員希望者の中から人選し配置している。基準に満たない学校の場合も、校長の要望を受けながら配置することになっている。また、臨時職員なので、学期ごとに必要な人数を任用することになり、年度途中であっても配置変更することがある。

問 介護保険制度の説明会等では、十一年度百三十三団体。環境学習という観点からは町会、ボランティア団体等に年二十回程度、小学校へは六〜七回実施。また、消費に係る問題についても十五回行っている。

問 推進計画に基づいてどの答弁があったが、難しく考えないで、例えば二十項目ぐらいに絞れば、速やかにできると思うがどうか。

答 市内のコンセンサスを得てテーマのメニューを確定していく考えであり、目標として来年の一月頃から実施できればと思っている。

声の市議会だよりのお知らせ

目の不自由な方のために「声の市議会だより」を発行しています。議会報の内容を吹き込んだカセットテープをボランティアの方々のご協力により作成し、お貸ししています。

ご希望の方は、 ☎436-3012(議会事務局)

ふなばし21

公民館の今後のあり方

問 現在、それぞれの館が個々に行事等の運営を行っているが、より効率的な運営を行うため、近隣の館等が提携した事業展開はできないか。

答 四月から実施した基幹公民館を中心とし、合同事業等について充実を図ってみたい。

中央図書館について

問 ①オープン時期②駐輪場の問題③蔵書数④特色について伺う。

答 ①七月七日正午②専用の野外駐輪場を設置(自転車八十六台、オートバイ六台)③約十七万冊④開架書架及び閲覧席を多く設け、書架間を広くしたバリヤフリー計画等である。



7月7日にオープンした中央図書館

問 公民館と同様に、月曜閉館の予定はあるか。

答 図書館の月曜休館は、全国的にも定着している。当面は現状を維持したい。

介護保険について

問 認定申請の状況と、審査の進捗状況はどうか。

答 三月末で六千三百十八人。最終的に審査会に諮った数は五千二百九十八件である。審査については、三月までの申請分については、三月中に完了した。

問 保険料の基準額、特別給付事業に伴う保険料の負担増及び低所得者の負担軽減、減免はどのようになっているか。

答 介護保険事業計画に基づき試算し決定したため、少なくとも一年間の事業実績を見て判断したい。また、低所得者の対応は、今後の推移を見て必要であれば、条例改正等を検討したい。

問 利用者及びサービス提供者からの市及び国・県への要望等について伺う。

答 ケアマネージャーに対するアンケート調査を行い、

問 西船近隣公園の施設整備計画はどうなっているか。

答 中央付近に防災施設を集約し、東西に芝生広場を設け、散策、ジョギング等の快適空間とし、平成十五年までに完了の予定である。

居宅介護支援事業者及び介護サービス事業者が不足しているとの回答があった。また、事業者からショートステイの利用控え等、報酬費が減少し運営が厳しいとの意見があった。

問 制度そのものに課題もあるため、全体的な視野から今後の対応を図りたい。

答 最重要課題の一つとして現在取り組んでいるが、今後も先進事例等を幅広く参考にし、進めていきたい。

公園の管理運営を問う

問 アンデルセン公園のPRのため、市民に無料入園券の配布又はバスポート券の発売はできないか。

答 入園料収入を管理運営の主な財源としていることから、現在の厳しい財政状況では難しいが、今後研究していきたい。

問 西船近隣公園の施設整備計画はどうなっているか。

答 中央付近に防災施設を集約し、東西に芝生広場を設け、散策、ジョギング等の快適空間とし、平成十五年までに完了の予定である。

問 法典公園のテニスコートの利用料金について伺う。

答 船橋市都市公園条例で設定されるが、施設の維持管理費等を考慮し、検討していきたい。

問 船舶包装リサイクル法の実施に伴い、プラスチック製容器の対応をどう考えているか。

答 廃棄物減量等推進審議会の意見を考慮し、施設整備を含め総合的な対応を図ってみたい。

問 生ごみの減量対策についてどのように考えるか。

答 家庭用生ごみ処理機の助成台数の拡大、小中学校への処理機設置に努めていく。

市長の政治姿勢について

問 行政改革の取り組み、意気込みについて、いまだ一度伺う。

答 最重要課題の一つとして現在取り組んでいるが、今後も先進事例等を幅広く参考にし、進めていきたい。

都市計画を問う

問 商業地域に高層マンションが建設されることになり、都市計画の観点から問う

答 商業地域に高層マンションが建設されることになり、都市計画の観点から問う



マンション建設が予定されているらばーと北側

元気都市と安歩と女性

通称山崎別荘の整備について

問 山崎別荘を市民共有の貴重な文化的財産と認識しているか。また、登録有形文化財についてはどう考えるか。

答 昭和初期の貴重な歴史的建造物として貴重な歴史的建造物であると認識。市は指定制度を中心に、場合によっては国の登録制度を取り入れ文化財保護を行う。

南口再開発ビル活用策を問う

問 市民活動支援のボランティアセンターを想定し準備するべきと考えるが、所見と再開発ビルへの活用について伺いたい。

答 ボランティアの活動拠点として、NPO等サポートセンターの整備を計画している。ビルの活用については関係部課と協議したい。

防災FM放送局の活用策を問う

問 災害FM放送局の活用策はないか。

答 FMでは、緊急防災情報を自動的に放送するシ

行政改革について

問 不採算部門の見直し等、行政改革の意気込みを伺う。

答 事務改善の推進等、簡易で効果的な行政運営を目指し、全力で取り組んでいきたい。

福祉施設設計画を問う

問 介護保険制度実施後の福祉行政の場での発想の変化はないか。

答 介護保険制度実施後の福祉行政の場での発想の変化はない。

男女共同参画社会の実現を問う

問 まちづくりに関する市の女性委員登用の割合をどのように捉えているか。

答 現場の方々の意見を聞き、他の設計の条件とも総合的に検討し、反映させた。

おわびと訂正

(誤) 「前原駅踏切が拡幅されたが」

(正) 「前原駅踏切が拡幅されたのは前原駅」



多面的に活用が期待される建設中の南口再開発ビル

男女共同参画社会の実現を問う

問 まちづくりに関する市の女性委員登用の割合をどのように捉えているか。

答 現場の方々の意見を聞き、他の設計の条件とも総合的に検討し、反映させた。

おわびと訂正

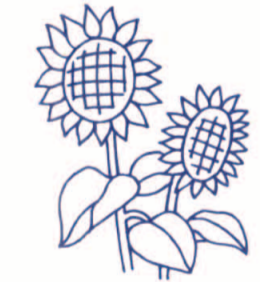
(誤) 「前原駅踏切が拡幅されたが」

(正) 「前原駅踏切が拡幅されたのは前原駅」

おわびと訂正

(誤) 「前原駅踏切が拡幅されたが」

(正) 「前原駅踏切が拡幅されたのは前原駅」



新風

日本共産党

学校教育について

問 船橋市の道徳教育はどのように行われているのか。

答 週一時間の道徳の時間のほか、各教科や特別活動等、学校における全教育活動を通して行われている。

問 部活動の最終下校時間はどのように設定し、また、土・日曜、休日の活動はどのように行っているのか。

答 最終下校時間は、日没時刻を参考に決定。土・日曜、休日の活動は、月ごとの練習計画を立て実施している。教師以外の指導者について、積極的に登用していき

月と十一月に広報で公表している。バランスシートがまとまり次第、速やかに公表していきたい。

消防団員のあがりについて

問 実働員が少ないという状況を改善するために、女性消防団員を器用に配置して、活用したかどうか。

答 現在、女性消防団員はすべて本部付きとなっているので、今後、消防団と十分話し合っていく。

問 自治会を中心とした自主防災組織との連携を図ることができないか。

答 自主防災組織は、主として



デジタル化を進める船橋ケーブルテレビ

地域経済の活性化対策

問 大規模小売店舗立地法が施行となり、ますます大型店の進出が野放しにされようとしている。船橋市域の経済を守るための対策はどうか。

答 大規模小売店舗立地法の主旨や地域の実情を加味し、一定のルールづくりなどに

問 防火管理者講習会や、各種消防訓練、そしてまた、新聞、テレビ等を通じて、消防活動のPRを展開している。また、消防局独自のPR紙「ふなばしシー9」の配布や、消防団では「ふなばし消防団だより」を作成し、配布している。

答 防火管理者講習会や、各種消防訓練、そしてまた、新聞、テレビ等を通じて、消防活動のPRを展開している。また、消防局独自のPR紙「ふなばしシー9」の配布や、消防団では「ふなばし消防団だより」を作成し、配布している。

問 船橋ケーブルテレビの収支状況、特に累積赤字などがあつたら伺いたい。

答 十一年度決算見込みでは、単年度三千七百万円の赤字を計上し、累積赤字額は十四億二千八百万円である。累積赤字を一掃してしまふような経営のこ入れ策として、インターネットのプロバイダーサービスを行ったらどうか。

問 本年十月から第三期・第五期エリアでインターネット接続サービスを開始する。残りの地区についても順次サービスを開始していく予定。同サービスの提供により、新たな加入者の拡大につながるかと考えている。

船橋ケーブルテレビの経営状況の改善を求める

問 船橋ケーブルテレビの収支状況、特に累積赤字などがあつたら伺いたい。

答 十一年度決算見込みでは、単年度三千七百万円の赤字を計上し、累積赤字額は十四億二千八百万円である。累積赤字を一掃してしまふような経営のこ入れ策として、インターネットのプロバイダーサービスを

問 本年十月から第三期・第五期エリアでインターネット接続サービスを開始する。残りの地区についても順次サービスを開始していく予定。同サービスの提供により、新たな加入者の拡大につながるかと考えている。

答 少人数学級の実現性について、どんな結論を出したのか。

答 少人数学級の実現性も含め、そのほかに学習方法、学習形態、あるいは二人担任制というように、もっと幅広い観点から検討を進めていきたい。

問 教職員が、学校行事でないもののために必要な休息がとれていない。行事のあり方について見直しているという点だが、この点はどうか。

答 大会役員や引率業務が増えた場合は、一人の教師に負担がかからないよう、各学校で工夫している。土・日曜に実施される行事は、特殊勤務手当をつけ補助している。

問 子どもが特定の先生から継続的、反復的に迫害を受け、学校に行けなくなったような場合、教育委員会はどうか対応するの。

答 複数の教員が該当学級にあるいは、その児童生徒に関わる機会を多く持ち、子どもへのケアができる学校指導体制を確立するほか、必要に応じて指導主事を派遣して、指導方法の改善を図ることも考えている。

問 来年度採用試験を行うときは、基本的に三名の配置を考えている。

問 放課後ルームの施設長会議で、手作りおやつ禁止が決められたと聞いている。手作りおやつを復活を要望したいがどうか。

答 食品衛生上、支障のない範囲内で、お誕生会等の行事の中では、手作りのものを提供している。

問 虐待の早期発見のため、関係機関の連絡会議をもつべきと考えるがどうか。

答 市町村を抜きにしては、早期発見が困難であるため、市町村ネットワークを検討していきたい。

問 港湾施設の整備や道路の建設について、客観的な必要性を不すすべきではないか。

答 具体的な試算や見通しについて検討している。

問 エアルにより、以前よりも市町村に権限が委譲され、最終的には、県が指定取り消しのできることで、これにより十分チェック機能は果たせるものと考えている。

問 前原東二丁目地域に公園ができるか聞いているが、この土地の買収や完成予定などはどうなっているか。

答 用地の中央付近に認定外公道（赤道）があるため、その処理方法が決まってから予算要求を行い、国有地の払い下げ申請をすることで協議している。

問 財源を調達するために、何を削るのか。

答 予算の中で何を削るというのではなく、全体の中から公共性の高い事業に対し無利子貸付を行うというものである。

問 市民の負担を軽減するために、五法人と交渉を継続している。

答 市社会福祉協議会からボランティア・コーディネーターが配置され、地域のボランティアと一緒に、積極的な地域活動が展開されるものと期待している。



拡幅が待たれる前原駅前踏切

市議会を傍聴してみませんか

次の定例会は、
9月6日(水)開会の予定です。

本会議は、通常、午後1時に開会され、自由に傍聴できます。

傍聴の受付は、開会の30分前から庁舎11階で行います。

前定例会より、本会議・委員会を傍聴している間、小さなお子さんをお預かりする「託児ルーム」が利用できます。

利用時間は、午後0時30分から午後6時までです。

利用される方は、前日の正午までに電話等でお申し込みください。

申し込み
問い合わせ
議会事務局
436-3012